



任期2年目を終えて —この1年間の成果と課題

支部長 益田 哲生

大阪支部長に就任しましてから早や2年が経過しました。このたび川崎裕子・藤木久・田中宏・福田健次・大砂裕幸・塩路広海・満村和宏・小谷英男の各副幹事長は任期満了により退任されますが、この2年間何とか大阪支部としての活動を進めることが出来たのは、ひとえに副幹事長の皆様に支えて頂いたお蔭です。心から感謝申し上げます。新年度は、丹羽雅雄、上原武彦、三木秀夫、池内清一郎、森本宏、高橋司の各氏に加え、新たに小寺史郎、松本岳、辻井一成、木村圭二郎、崔勝、林功、近藤行弘の各氏にも副幹事長に就任して頂き、平成24年・25年の2年度にわたる各派の幹事長、代表幹事の皆さんに副幹事長として支えていただくことになりました。引き続き竹岡幹事長ともども精一杯頑張りたいと存じますのでどうかよろしくお願い申し上げます。

この1年を振り返ってみますと、支部活動としては、民主党法曹養成制度検討PTの前川清成事務局長（参議院議員）を招いての法曹養成制度勉強会、森野實彦弁護士による公職選挙法勉強会（国会議員秘書も参加）、弁護士資格を有する政策秘書との懇談会、大阪維新の会所属の大阪府・市議員（大阪弁護士会会員）との懇談会、弁護士資格を有する自治体職員との懇談会、昨年末の国政選挙で当選された衆議院議員の当選祝賀会等を開催し、当支部としても、**弁護士会と政治をつなぐ「架け橋」**としての役割をそれなりに果たすことが出来たのではないかと考えております。弁政

連としては、今後とも弁護士会と連携して、喫緊の課題である東日本大震災の復興支援、**取り調べの可視化、法曹養成制度等々の問題**について、弁護士会が進める施策の実現に向けて活動を続けて参りたいと存じます。

ところでご案内の通り、今回の国政選挙では、政権を担っていた民主党が惨敗し、自民党が圧勝して政権与党に返り咲くとともに、「第三極」と呼ばれる諸政党が存在感を高めるという大きな変化が見られました。大阪支部では、これまでお付き合いのあった国会議員の方達の多くが落選されたことから、新たなコミュニケーションの構築に向けて取り組む必要に迫られています。私どもと致しましては、議員の方達お一人お一人に弁護士会や弁護士が抱えている様々な課題について真摯にお話申し上げ、**ご理解を頂くように地道な努力を積み重ねて参りたい**と存じます。

組織面では、会員数は未だ大阪弁護士会の会員の1割程度にとどまっています。このような状況では、「政治力」云々と言っても限界があり、相手に耳を傾けさせる迫力には甚だ欠けると言わざるを得ません。この**組織強化は弁護士会の施策を実現するためには不可欠**であり、私どもと致しましてもこの1年、あらためて組織強化を**最重要課題**と位置づけて真剣に取り組む所存であります。会員の皆様には組織の拡大、強化に向けてなお一層のご理解、ご協力を頂きたくどうかよろしくお願ひ申し上げます。



幹事長からのご挨拶

幹事長 竹岡 富美男

平素は弁政連の活動にご理解、ご協力を賜り真に有り難うございます。

喫緊の課題が多い中、**法曹養成問題**には心を痛めています。

志願者数 4 万 5207 人、入学者数 5713 人、志願者数 1 万 8446 人、入学者数 3150 人、これは何を示しているかと言いますと法科大学院の平成 17 年と平成 24 年の入試入学状況です。

志願者が、4 割近く、合格者は、半分近くに減少しています。

社会人を含めて有意な人材を法曹として育てた

いという当初の理念は、足下から崩壊しつつあり、その影響は、法学部入学者の減少といった裾野にまで及びつつあります。

当業界のみならず**司法を支える人材に事欠く事態**は、国の行く末にも関わることと思っています。

制度の検証も大事ですが、**健全な状態に早期に舵取り**を行わなければなりません。

私達も弁護士会と連携し、内部の意思統一を図りながら、政治の世界へ働きかけをし、問題解決につなげたいと考えています。

皆様のご支援ご指導をお願いする次第です。

平成24年度の活動報告と今後の予定

弁政連 大阪支部 副幹事長 田中 宏



▲平成24年5月8日 弁政連総会



▲平成24年5月11日 法曹養成制度に関する意見交換会



▲平成24年10月15日 公職選挙法勉強会

平成 24 年度の活動概要は以下のとおりです。

- 平成 24 年 5 月 11 日に前川清成議員を招き、**法曹養成制度に関する意見交換会**を開催しました。
- 同年 7 月 3 日に大阪弁護士会の正副会長との懇談会を開催し、弁護士会の抱える課題について意見交換を行いました。
- 同年 10 月 15 日に弁護士会の後援を得て、森野実彦**弁護士**を講師として招き、**公職選挙法勉強会**を開催しました。議員秘書 20 数名及び多数の弁護士の参加を得て、活発な質疑がなされました。
- 同年 12 月 17 日に弁護士会の就職支援委員会との共催で、**弁護士資格を有する政策秘書経験者**との懇談会を開催しました。政策秘書経験者 3 名、弁護士、司法修習生及び法科大学院生 25 名の参加を得て、意見交換が行われました。



▲平成24年12月17日 弁護士資格を有する政策秘書経験者との懇談会



▲平成25年1月22日 弁護士資格を有する自治体職員との懇談会

- 平成25年1月22日に弁護士会の就職支援委員会との共済で、**弁護士資格を有する自治体職員との懇談会**を開催しました。自治体職員4名、弁護士及び司法修習生24名の参加を得て、意見交換が行われました。

- 同年2月5日に大阪維新の会所属の**弁護士地方議員3名との懇談会**を開催しました。維新の会からは同会の政策課題について、弁護士会からは行政連携や弁護士会館の固定資産税の減免措置の見直し等について意見を述べ、意見交換が行われました。

- 同年4月5日、大阪の小選挙区、比例区で当選された**衆議院議員**を招き、「**懇談会・当選祝賀会**」を開催しました。議員本人出席13名、代理出席9名、当会会員75名の参加を得て、盛大に開催されました。

弁護士・弁護士会を巡る政策課題はまだ山積しています。次年度も国会議員及び地方議員との勉強会や懇談会を通じて、弁護士会の推進する政策に対する理解を得るべく、積極的な活動を展開していく予定です。また、弁護士が行政に、より深く関与していくための方策についても検討していきたいと考えています。さらに、現在の当支部の会員数は398名（平成25年4月4日現在）、加入率9.9%で、昨年達成した10%を切ってしまいましたが、20%の加入を目指し今後も会員の増強を図る予定です。



▲平成25年2月5日 大阪維新の会所属の弁護士地方議員3名との懇談会



▲平成25年4月5日 衆議院議員との懇談会・当選祝賀会



入会のご案内

- 1 日本弁護士政治連盟（略称「弁政連」）は、政治資金規正法第3条の「政治団体」です。日弁連の政策を、国会議員や政党の理解と支持を得つつ、立法というかたちで実現していく幅広い活動を行っています。「政治資金団体」と異なり、特定の政党を支持するものではありません。
- 2 弁政連は、任意に加入した弁護士の会員のみで組織され、運営は原則として会員の会費によって行われています。
- 3 弁政連には、都府県単位、ブロック単位の支部があり全国で活動しています。大阪弁護士会の方のためには、日本弁護士政治連盟大阪支部（略称「弁政連大阪」）が設立されています。弁政連の会員となると、弁政連大阪の会員ともなって頂くことになります。
- 4 弁政連の会員の会費は年間1万円です。これに、弁政連大阪の年会費として別に5千円が必要です。合計1万5千円の年会費となります。ただし、**弁護士登録5年未満の会員は「無料」**です。

日本弁護士政治連盟入会申込書

私は、日本弁護士政治連盟大阪支部
日本弁護士政治連盟 に入会したく申し込みます。

平成 年 月 日

日本弁護士政治連盟大阪支部 行
日本弁護士政治連盟

申込者

【氏 名】

【所属弁護士会】 大阪弁護士会

【登録番号】

申し込まれた方には、会費納入のための「預金口座振替制度のご案内」を送付いたしますので、速やかに手続きをお願いします。手続きをとっていただくと、年間1万5千円が自動引落としとなります。弁護士登録5年未満の会員の方には、登録5年経過後に同ご案内をご送付させていただきます。

FAX送信先 **03-3580-9976**

● あ と が き ●

本号では、弁政連大阪支部の平成24年度の活動をほぼまとめております。この活動を継続的に、より幅広いものにしていくためには、多くの会員の協力が必要です。皆さんの力で政治に影響を与えていきませんか。どうぞ弁政連へご入会下さい。入会には、上段の申込書を利用していただくか、各会派の幹事長にご連絡下さい。入会を心待ちにしております。
(福田健次)